

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	光善寺駅西地区第一種市街地再開	階数	地上3F、地下1F
建設地	大阪府枚方市北中振	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、防火地域	平均居住人員	110 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,080 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、物販店、病院、等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年8月 予定	評価の実施日	2022年10月3日
敷地面積	2,281 m <sup>2</sup>	作成者	中尾礼太
建築面積	1,861 m <sup>2</sup>	確認日	2022年10月3日
延床面積	5,366 m <sup>2</sup>	確認者	中尾礼太



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.5</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 2.8</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.3</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.0</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.4</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.8</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.4</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.3</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.5</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>大阪府枚方市に建設される複合施設の計画である。壁面緑化や駅前広場側に庇を設けるなど、地域環境に配慮した建物である。また、高効率設備の採用により、省エネ設計や、水・材料等の省資源への取組みにも配慮した計画となっている。</p>	<p>その他</p> <p>特になし。</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>外部からの熱的侵入を抑制するような窓システム・外壁材・断熱材が採用しており、外皮性能に配慮している。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>耐用年数の長い外装材、更新間隔の長い配管材料を採用し、建物の維持管理に配慮している。また、階高・壁長さ比率にゆとりのある計画とし、機能性に配慮している。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>周辺環境に配慮し、外構緑化に加え、壁面緑化、屋上緑化にも積極的に取り組んでいる。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>高効率な設備システムを導入し、省エネルギーに配慮している。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>節水器具の採用、持続可能な森林から排出された木材を使用することにより、資源の保護に配慮している。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>燃焼機器は使用せず、大気汚染防止に配慮している。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R4-0089

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	光善寺駅西地区第一種市街地再開発事業 施設建築物新築工事(1街区)					
	建設地	大阪府枚方市北中振					
	用途/区分	物販店 病院 事務所 飲食店					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					A	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	建物の断熱性					5	
④	エネルギー削減					5	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

## エネルギー消費量の報告

### 【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.3	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	3.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

### その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		